



あなたのテーマは何ですか?

参加テーブル 活動概要 (発表順)

以下は活動にあたって会員マイページに掲載している活動概要です。当日の発表内容は各テーブル現在準備中です

① 11月5日 (火) 19:00~

シングルセッション・キャリアコンサルティングの効果と変化への有効性

【table26】 < 活動概要 >

キャリアコンサルティングの相談支援の場面においては、例えば就労支援相談など同じ支援者による複数回の相談が担保されていない場面が少なからずあります。しかしながら、こうした場においてこそ、適切な支援を行い、具体的な成果を来談者に感じてもらう必要があります。このテーブルでは、そのような対応を日常的に行っている人のみならず、今後幅広くキャリアコンサルティング支援に携わっていきたいと考えているキャリアコンサルタントを対象に、そうした限られたキャリアコンサルティングの機会を有効にするためなにが必要かをともに考えていきます。

また、必要に応じてシングルセッションの支援の場で有効と思われるキャリア理論を学ぶ機会や支援スキルを身に着ける機会を設けることも視野に入れていきます。

お待ちしております

② 11月5日（火）20：15～

自殺対策委員会

【table17】 < 活動概要 >

我が国の自殺者数は10年連続して減少し、2019年には1978年の統計開始以来、過去最少となった（警察庁自殺統計）。しかし依然として年間自殺者数は2万人を超えており、自殺死亡率も主要先進7か国の中で最も高く、非常事態は続いている状況である。そのようななか自殺対策は国を挙げて総合的に推進されている。

自殺総合対策大綱の「基本理念」として『誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す』『自殺対策は、社会における「生きることの阻害要因（過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立等）」を減らし、「生きることの促進要因（自己肯定感、信頼できる人間関係、危機回避能力等）」を増やすことを通じて、社会全体の自殺リスクを低下させる。』と掲げられている。

我々自殺対策委員会のメンバーも一人ひとりがこの理念を共有し、国家資格キャリアコンサルタント職能団体メンバーとしての責任及び自覚を持ち、自殺対策に取り組んでいく。

委員会では、自殺関連領域（自傷、自殺未遂、自殺既遂、自死遺族、身近な人や職場の同僚が自傷や自殺をした場合等々）においてキャリアコンサルタントとして適切な対応ができるように各種取り組みを行っていく。

具体的には、自殺対策委員会メンバーの自殺関連領域におけるケースカンファレンス、委員会内研修（自殺のリスクアセスメント及び自殺ハイリスク者への対応方法等）等から委員会活動を行い、今後外部機関や他職種からの(自殺関連領域における)キャリアコンサルティングの要請にも応えられるような基盤を整えていきたい。

③ 11月6日（水） 19：00～

チームIchiban「企業におけるキャリアコンサルタントを定義し、キャリアコンサルティングの導入を段階的にアプローチする方策を検討すること」

【table01】 < 活動概要 >

企業内で働いているキャリアコンサルタントの皆さんと一緒に研究活動を行いたいと思います。資格は取ったけれど、企業でキャリアコンサルタントがどのような活動をすればいいのかわからないという方は多いと思います。

そんな疑問を解決するために当テーブルの活動の目的は、「企業におけるキャリアコンサルタントを定義し、キャリアコンサルティングの導入を段階的にアプローチする方策を検討すること」とします。

具体的には、

- ・ 普段企業内で働く我々がキャリアコンサルティングの知識を企業領域でどのように活かせるのかを模索する
- ・ 企業領域におけるキャリアコンサルタントを定義する
- ・ 企業内におけるキャリアコンサルティングの導入を段階的にアプローチする方策を検討する
- ・ 研究の成果をレポートにまとめ、発表用の資料を作成する
(最終レポートはWordで6ページ位の論文形式とする。発表をするための説明資料をPowerPointで作成する)
- ・ あまりCCが活発でない企業内ですべきことは何なのか？を考える

こうした内容について学習や情報交換、話し合いなどから、あるべき姿を一緒に考えませんか？
活動は月に1回程度、Webや集まって話し合いをする形式を想定しています。

④ 11月6日（火） 20：15～

公共機関（ハローワーク、若者・女性・高齢者支援等）は就労支援の最前線 —事例から学ぶキャリアコンサルタントの役割—

【table03】 < 活動概要 >

活動母体のライフ委員会は2018年1月より技能士を中心に発足

セーフティネットの一翼を担う公共機関の就労支援ではひとり親、長期失業者、病気・メンタルヘルス不全 など多様な課題を抱えた求職者を支援しています。私たちは「生きるための支援」をテーマに公共機関の就労支援の事例をもとに専門分野で10回以上の勉強会、事例検討会を重ねてきました。

第11回ライフ委員会ではコメンテーターに、キャリアコン業界の第一人者であられる木村周先生をお迎えし「これからのキャリアコンサルティングに求められるもの」をテーマに事例検討会の開催に至りました。『特別な支援を必要とする相談者に対するきめ細かい支援とネットワークの構築が必要』と改めて学ぶことができました。

今秋は元学習院大学特任教授の木村進先生をお迎えし『キャリアデザイン』の勉強会を開催します。

また、ハローワーク等の公共機関にて最前線で勤務する会員による就労支援や各種給付金制度など実践に基づいた勉強会、事例検討会を行い公共機関で働くキャリアコンサルタントの役割、必要な知識、連携についての情報共有、発信を行っていきます。

⑤ 11月7日（木） 19：00～

就労困難者支援におけるキャリアコンサルティング力向上のためのオンライン事例検討会

【table05】 < 活動概要 >

日本には様々な理由で労働力としての能力が十分発揮できていない多くの人々がいます。本テーブルの目標はそのような就労困難者支援を目標としています。目標を達成のため以下2つの施策を重点的に実施することとしています。

①就労困難者がまずは就労に向けて一步を踏み出せるような気持ちになるように支援すること、および②就労困難者を受け入れに協力してくれる企業を見つけること。

②に関しては、これまで行っている企業の様々な関連団体や支援者のネットワークを通じて協力企業の開拓を継続して進めます。①の活動についてはこれまでキャリアコンサルタントなどの支援者個人の努力に依存していました。しかしながら、これまで支援者の声を広く聞いたり、支援の成功および失敗事例を収集分析する等した結果、就労困難の要因は種々様々であり、支援にあたってはキャリアコンサルタントが互いに情報交換し知恵を出し合うことが重要であることを認識しました。これを受けまして月例会においては支援困難事例の検討会を実施しています。

⑥ 11月7日（木） 20：15～

がん治療者の就労支援とキャリアコンサルタントの関わりを考える

【table31】 < 活動概要 >

日本人の2人のうち1人ががんに罹り、その内3人に1人が就労可能年齢で診断されています。また、働き盛りのがん患者は子育てや介護など自身の病気治療以外にも重ねて両立支援が必要な年代でもあります。国の施策のもと既に各領域ごとに支援の手は差し伸べられていますが、患者本人にとって、各現場において十分なものとは言い難いのではないかと考えます。就労意欲のあるがん患者を取り巻く支援の現状把握と分析をし、キャリアコンサルタントの支援の場やその活動の可能性を模索します。

⑦ 11月8日（金） 19：00～

キャリアコンサルタントの視点で考える障害者雇用支援

【table14】 < 活動概要 >

少子高齢化に伴う慢性的な人手不足を背景に、障害者雇用を取り巻く環境は「企業の社会貢献」的な色合いがうすくなり「新たな人材確保のフィールド」としての期待が高まっています。

また、そうしたいわゆる新たな人材の確保のための「障害者の新規採用」と並行して、企業は、労災やメンタル疾患などによる中途障害を得た自社従業員の対応、いわゆる「障害者雇用」にカウントされない発達障害などの「精神保健福祉手帳」の交付対象にならない精神障害者の雇用など、様々な課題を抱えています。

今までは、こうした課題へのアプローチは主に福祉的な側面からなされてきましたが、「就労支援」「定着支援」といった課題に対する具体的な支援はともかく、個々の障害者のキャリア全体を俯瞰した支援はあまりなされていない現状があります。

ダイバーシティ、ノーマライゼーションといったことが、いろいろなところで課題となっていますが、「障害者一人一人の特性」に軸足を置いて、そこにフォーカスして、自然なあり様をサポートする「福祉的な支援」と並行して、そこから先につながる未来を見据えつつサポートをする「キャリアコンサルタントの専門性を活かした支援」を行うことで、より安定した雇用そして生活環境を整えていくことを、いろいろな学びを通して考え、具体的なアクションに繋げていきます。

⑧ 11月8日（金） 20：15～

【まちのキャリアコンさん】 活動推進Project

【table27】 < 活動概要 >

【キャリアコンとして活動したい！！】

セミナーや相談会など実際に活動したいけどひとりでは不安な方、一緒にやりませんか？

個人活動相互協力隊を北関東から始動します。

『キャリアコンって何？』なんてもう言わせない

そもそもキャリアコン資格保有者には

- 豊富な人生経験
- 専門的な職業経験
- 新しい資格に対するチャレンジャー精神
- 人のために何かしたいという気持ちがある方ばかりです。

夢は

まちのキャリアコンさん=まちキャラリ
活動を全国に拡げてフェスを開催すること

人生100年時代…CCとCL相互の生涯QOL向上に、繋げていきましょう！

⑨ 11月9日（土）10：00～

高度外国人材キャリア支援

（注：高度外国人材候補者である大学院留学生、ポスドク研究者等への支援を含む）

【table02】 < 活動概要 >

博士課程を持つ旧七帝大などの大学院大学では、外国人留学生の割合が3割を超えるところもあり、卒業生の約半数は帰国せず、日本での就労（大学、研究機関、企業など）を希望している。これら高度外国人材は我が国の科学技術研究の一翼を担っていて、卒業後のキャリアパス、特に企業就職の支援と、就職後のキャリア相談などのニーズに日本語ないし英語で応えることは、喫緊の課題となっている。

本テーブルでは、リーダーの5年にわたる国立大学博士課程外国人留学生むけキャリア支援の経験に基づき、高度外国人材向けキャリア支援に関する研究と情報交換、高度外国人材を受け入れる機関での人材定着に向けた施策の提案と実施に向けた支援、そして大学、研究機関、企業等で高度外国人材のキャリア支援にかかわる人々のネットワークづくりを目指す。

⑩ 11月9日（土） 11：15～

「キャリアコンサルタント」「キャリアコンサルティング」概念の広報・発信について

【table04】 < 活動概要 >

統一的情報発信・戦略的広報活動による「キャリアコンサルタント」「キャリアコンサルティング」のブランディング、認知向上を目指すテーブルです。

働き方改革、副業解禁の流れなどに見られるように、新しいキャリアのあり方を考えることは時代の要請と言えます。国家資格キャリアコンサルタントの数は7万人を超え、キャリアコンサルティングの潜在的ニーズも高まっている一方、いまだに「キャリアコン」への世間の人々からの認知は芳しくありません。

この好ましくない現状の最大の原因は【キャリアコンサルタント側からの統一的・戦略的情報発信の不足】であると、私たちは考えています。

「職業紹介」や「臨床心理士等によるカウンセリング」などの隣接領域がある中で、「キャリアコンサルティング」「キャリアコンサルタント」という独自の分野・職業を根付かせるためには、統一されたビジョンに基づく情報発信が不可欠です。ACCNという職能団体の強みを生かして、戦略的広報活動により「キャリアコンとは何か」を世間へ伝えていくやり方をメンバーで練り上げていくのが本テーブルの狙いです。

「キャリアコンサルタント」「キャリアコンサルティング」という概念について、PR広報の観点から「世間にキャリアコンをどう認知させるか、どう根付かせるか」をテーマに議論を深め、具体的施策を導いていきたいと考えています。

みんなの「生きる」を キャリアでつなぐ。ACCN

ACCNには
いろいろな活動のキッカケがあります。
一緒に活動現場を創っていきましょう

